



「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告(平成21年度 NO.1)



1. 第18回総会

6月6日(土)、富山市の富山第一ホテルで、「第18回総会」を開催し、会員約100名が参加しました。

冒頭、高澤会長のあいさつで「世界的な規模で地球温暖化の影響が現れてきている今、無駄なエネルギーを減らし、二酸化炭素の排出削減をすすめるためには、発電時に二酸化炭素を排出しない原子力発電や太陽光発電など、低炭素社会への道筋を明確にし、その輪を広げていくことが大切です。私たちの会では、21世紀の環境問題とエネルギーの今と未来について、楽しく研修会を行うことで理解を深めてまいりたい」と、会の活動に対する理解と重要性を呼びかけました。

引き続き議事が行われ、平成21年度活動計画案などを承認しました。



高澤会長ご挨拶

2. エネルギー環境講演会

同じく、6月6日(土)、富山市の富山第一ホテルで、会員ほか一般の方も含めて約400名が参加し「エネルギー環境講演会」を開催しました。

講師には、スポーツジャーナリストの増田明美先生をお招きし「増田明美のエネルギートーク 夢を走り続ける女たち」と題して、マラソン選手時代の体験談などを踏まえながら、エネルギーの使い方をわかりやすくお話されました。



楽しくわかりやすい講演をされた増田先生



熱心に増田先生の講演を聞く参加者

3. 北陸原子力懇談会「環境・エネルギー講演と弦楽四重奏」

7月31日(金)、富山市の名鉄トヤマホテルにおいて、北陸原子力懇談会主催の「環境・エネルギー講演と弦楽四重奏」が行われました。環境とエネルギーを考えるとやま女性の会は、これに後援し、会員57名が参加しました。

★★第一部：環境エネルギー講演★★

第一部では、慶應義塾大学文学部教授の荻野アンナ氏が「エネルギー ひょうたんから駒」というテーマで講演を行いました。原子力についてむやみに怖がるのではなく、必要な知識を得て「正しく怖がること」の大切さを、ご自身の体験をもとにユーモアたっぷりにお話されました。



ユーモアたっぷりにお話された荻野アンナ先生



★★第二部：オーケストラ・アンサンブル金沢による弦楽四重奏★★

第二部では、オーケストラ・アンサンブル金沢による弦楽四重奏が行われ、参加者は、シューベルトやベートーベンなどのクラシック名曲を楽しみました。



☆発行元・お問い合わせ先☆

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」

(事務局) 北陸電力株式会社 地域広報部エネルギー広報チーム

〒930-8686 富山市牛島町15-1

TEL 076-441-2511 (代表) (内線: 2631~2635) FAX 076-405-0111

ホームページ <http://www.toyama-enenokai.jp>